

東京外国為替市場委員会 第 169 回会合 議事録

開催日時 2014 年 2 月 25 日 13 : 00～14 : 30
場 所 日本銀行本店 新館 9 階中会議室 B
議 長 星野 昭
副 議 長 中野 北斗
副 議 長 大西 知生
書 記 河合 祐子
出 席 者 19 名

I. 委員の退任について

星野議長より、岩田委員が退任することが報告されました。

II. 小委員会報告

1. 運営小委員会

廣田小委員長より、各小委員会報告など本日の議題について話し合われた旨が報告されました。

2. BCP 小委員会

星野議長（小委員長）より、3 市場合同 BCP 事務局会合（2 月 18 日開催）について、報告がありました。同会合では、12 月 17 日に行われた 3 市場 BCP 合同訓練のレビューが行われ、CLS 関連の障害を想定して午後には訓練を行った点は非常に有意義であったとの意見が他市場からも多かったとの説明がありました。また、来年度の訓練は、2014 年 12 月に行う予定である旨の連絡がありました。

3. 教育小委員会

大柿委員（小委員長）より、2 月 24 日に開催した日本フォレックス・クラブとの共催セミナーにおいて、70 名近くの参加者があり、為替以外のテーマを取り上げたことについて非常に面白かったとのコメントが聞かれたとの報告がありました。

4. 市場調査小委員会

筒井準委員より、次回の外国為替取引高サーベイ（2014 年 4 月分）にあたって、各報告先に調査依頼を行う旨の説明がありました。依頼にあたっては、前回同様、セールスデスクやプライムブローカー取引の扱いにかかる報告項目の定義・報告方法についてあらためて各報告金融機関の理解を図っていく旨の確認がありました。

III. 外国為替証拠金店頭取引に関する共同調査について

星野議長より、例年通り、金融先物取引業協会に対して、外国為替証拠金店頭取引に関する共同調査を依頼した旨の報告がありました。

IV. FSB 為替指標部会について

河合書記より、今般、FSB（金融安定理事会）の下に設置された為替指標部会について、説明がありました。同部会には、わが国からは金融庁および日本銀行が参加し、今秋の G20 ブリスベン・サミットに向けて、外国為替の指標に関する検討を行う旨の説明がありました。

V. その他

本委員会とは別セッションとして、HSBC 証券の城田氏から、中国経済・政治体制について、プレゼンテーションがありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (2月25日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○星野 昭	(三菱東京UFJ銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほ銀行)
副議長・CoC小委員長	○大西 知生	(ドイツ証券)
書記	○河合 祐子	(日本銀行)
運営小委員長	○廣田 剛	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBSデイトリングリソースジャパン)
法律問題小委員長	今西 晋嗣	(三井住友信託銀行)
オペレーション小委員長	花生 浩介	(香港上海銀行)
Eコマース小委員長	○石橋 優	(三井住友銀行)
NDF慣行整備小委員長	○廣田 泰司	(JPモルガン・チェース銀行)
教育小委員長	○大柿 敦郎	(野村証券)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハロー)
	岩田 智宏	(ゴールドマン・サックス証券)
	Joseph A. Kraft Jr.	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○宗川 雄視	(トムソン・ロイター・マーケット)
	○古海 敏勝	(シティグループ証券)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(スタンダードチャータード銀行)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○筒井 慎一	(みずほ銀行)
○須田 剛彦	(三菱東京UFJ銀行)
○太田 幸里	(日本銀行)

<オブザーバー>

○廣川 斉	(財務省)
-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。